

国民保養温泉地一覽

(温泉地名・主な泉質・所在市町村)

北海道・東北地方

	温泉地名	主な泉質	市町村
北海道	1 カルルス温泉	単純温泉	登別市
	2 ニセコ温泉郷 昆布・湯本・五色・新見	(昆布)塩化物泉 (五色)硫黄泉 (湯本)硫黄泉 (新見)硫酸塩泉	蘭越町 ニセコ町
	3 芦別温泉	硫黄泉 炭酸水素塩泉	芦別市
	4 ながめま温泉	塩化物泉	長沼町
	5 豊富温泉	塩化物泉	豊富町
青森県	6 酸ヶ湯温泉	硫黄泉	青森市
秋田県・岩手県	7 八幡平温泉郷 玉川・後生掛・ふけの湯 大深・大沼・藤七	(玉川)酸性泉 (後生掛)硫黄泉 (ふけの湯・大沼) 単純温泉 (大深・藤七) 硫黄泉	仙北市 鹿角市 八幡平市
秋田県	8 田沢湖高原温泉郷 田沢湖高原・乳頭	(田沢湖高原) 硫黄泉 (乳頭温泉郷) 単純温泉 酸性泉 硫黄泉	仙北市
	9 秋ノ宮温泉	塩化物泉	湯沢市
岩手県	10 大館ぐるみ温泉郷 大滝・雪沢・矢立・たしる 大葛・市街地	硫酸塩泉 塩化物泉	大館市
	11 金田一温泉	単純温泉	二戸市
宮城県	12 鳴子温泉郷 鳴子・東鳴子・鬼首 中山平・川渡	単純温泉 炭酸水素塩泉 塩化物泉 硫酸塩泉・含鉄泉 硫黄泉・酸性泉	大崎市
山形県	13 蔵王温泉	酸性泉・硫黄泉	山形市
	14 銀山温泉	塩化物泉	尾花沢市
	15 暮点温泉	塩化物泉	村山市
	16 肘折温泉郷 肘折・黄金・石砲	塩化物泉 炭酸水素塩泉	大蔵村
	17 湯田川温泉	硫酸塩泉	鶴岡市
福島県	18 湯野浜温泉	塩化物泉、他	鶴岡市
	19 あつみ温泉	塩化物泉・硫酸塩泉	鶴岡市
	20 由良温泉	硫酸塩泉	鶴岡市
福島県	21 岳温泉	酸性泉	二本松市
	22 新甲子温泉	単純温泉	西郷村
	23 土湯・高湯温泉郷	(土湯)単純温泉 炭酸水素塩泉 硫黄泉 (高湯)硫黄泉	福島市
	24 二岐・岩瀬湯本 天栄温泉	(二岐・天栄) 硫酸塩泉 (岩瀬湯本) 塩化物泉	天栄村

関東地方

	温泉地名	主な泉質	市町村
栃木県	25 奥日光湯元温泉	硫黄泉	日光市
	26 板室温泉	単純温泉 硫酸塩泉	那須塩原市
群馬県	27 四万温泉	塩化物泉	中之条町
	28 鹿沢温泉	炭酸水素塩泉	中之条町
	29 みなかみ町 国民保養温泉地 上牧・奈女沢・湯宿 川古・猿ヶ京・法師温泉	硫酸塩泉、他	みなかみ町
	30 芦之湯温泉	硫黄泉	箱根町

中部地方

	温泉地名	主な泉質	市町村
新潟県	31 岩室温泉	硫黄泉	新潟市
	32 六日町温泉	塩化物泉	南魚沼市
	33 関・燕温泉	(関)塩化物泉 (燕)硫黄泉	妙高市
	34 五頭温泉郷 出湯・今板・村杉	(出湯) 放射能泉 単純温泉 (今板・村杉)放射能泉	阿賀野市
石川県	35 白山温泉郷 手取・新岩間 一里野・中宮	(手取)硫酸塩泉 (新岩間・一里野・中宮)塩化物泉	白山市
山梨県	36 下部温泉	単純温泉	身延町
	37 増富温泉	放射能泉	北杜市
長野県	38 丸子温泉郷 鹿教湯・大塩・霊泉寺	(鹿教場)単純温泉 (大塩・霊泉寺) 硫酸塩泉	上田市
	39 田沢・沓掛温泉	硫黄泉	青木村
	40 小谷温泉	炭酸水素塩泉	小谷村
	41 白骨温泉	硫黄泉	松本市
岐阜県	42 美ヶ原温泉	単純温泉	松本市
	43 奥飛騨温泉郷 平湯・福地・新平湯 栃尾・新穂高	炭酸水素塩泉 単純温泉・硫黄泉	高山市
	44 白川郷平瀬温泉	硫黄泉	白川村
静岡県	45 小坂温泉郷 濁河・湯屋・下島	(湯屋・下島) 二酸化炭素泉 (濁河)硫酸塩泉	下呂市
	46 畑毛・奈古谷温泉	放射能泉	伊豆の国市 函南町
静岡県	47 梅ヶ島温泉郷 梅ヶ島・新田 金山・コンヤ	(梅ヶ島・コンヤ) 単純硫黄泉 (新田・金山) 炭酸水素塩泉	静岡市

近畿地方

	温泉地名	主な泉質	市町村
京都府	48 久美の浜温泉郷	塩化物泉	京丹後市
	49 るり渓高原温泉	放射能泉	南丹市
兵庫県	50 浜坂温泉郷	(浜坂) 塩化物泉 (七釜・二日市)硫酸塩泉	新温泉町
奈良県	51 十津川温泉郷 湯泉地・十津川・上湯	(湯泉地)硫黄泉 (十津川・上湯) 炭酸水素塩泉	十津川村
和歌山県	52 熊野本宮温泉郷 湯の峰・川湯・渡瀬	(湯の峰)硫黄泉 (川湯)単純温泉 (渡瀬)塩化物泉	田辺市
和歌山県	53 龍神温泉郷 龍神・小文川	炭酸水素塩泉・他	田辺市

中国・四国・九州地方

	温泉地名	主な泉質	市町村
鳥取県	54 鹿野・吉岡温泉	単純温泉	鳥取市
	55 関金温泉	放射能泉	倉吉市
	56 岩井温泉	硫酸塩泉	岩美町
	57 三瓶温泉	塩化物泉	大田市
島根県	58 さざの湯温泉	塩化物泉	安来市
	59 湯原温泉郷 湯原・下湯原・郷緑足・ 真賀	単純温泉	真庭市
岡山県	60 奥津温泉	単純温泉	鏡野町
	61 湯郷温泉	塩化物泉	美作市
	62 湯来・湯の山温泉	放射能泉	広島市
広島県	63 矢野温泉	放射能泉	府中市
山口県	64 俵山温泉	単純温泉	長門市
	65 三丘温泉	硫黄泉	周南市
香川県	66 塩江温泉郷	硫黄泉	高松市
愛媛県	67 湯ノ浦温泉	放射能泉	今治市
福岡県	68 筑後川温泉	単純温泉	うきは市
	69 吉井温泉	炭酸水素塩泉 単純温泉	うきは市
長崎県	70 雲仙・小浜温泉	(雲仙)硫黄泉 (小浜)塩化物泉	雲仙市
	71 杵岐湯本温泉	塩化物泉	杵岐市
熊本県	72 天草下田温泉	炭酸水素塩泉	天草市
	73 南小国温泉郷 黒川・田の原・満願寺 小田・白川	(黒川)単純温泉、 塩化物泉 (田の原)炭酸水素塩泉 (満願寺)炭酸水素塩泉 (小田)炭酸水素塩泉 (白川)硫黄泉	南小国町
	74 湯の児・湯の鶴温泉	(湯の児)炭酸水素塩泉 (湯の鶴)単純温泉	水俣市
大分県	75 湯布院温泉郷 由布院・庄内・挾間 単純温泉	(由布院・庄内・挾間) 単純温泉 (湯平)塩化物泉 (塚原)含鉄泉	由布市
	76 鉄輪・明礬 柴石温泉	(鉄輪)塩化物泉 (明礬)含鉄泉 (柴石)単純温泉	別府市
	77 竹田温泉群 長湯温泉・久住温泉郷 竹田・萩温泉	(長湯・久住高原温泉郷) 炭酸水素塩泉 (竹田・萩) 塩化物泉・炭酸水素塩泉	竹田市
鹿児島県	78 霧島温泉	硫黄泉	霧島市
	79 隼人・新川溪谷 温泉郷 堀湊・日の出・安楽 新川・妙見・日当山	炭酸水素塩泉	霧島市

— 令和4年10月版 —

国民保養温泉地

自然豊かなくつろぎの湯



由良温泉（山形県）



湯布院温泉郷（大分県）



湯の児・湯の鶴温泉（熊本県）



あつみ温泉（山形県）

国民保養温泉地の概要

国民保養温泉地とは、温泉法(昭和23年法律第125号)第29条に基づき温泉の公共的利用増進のため、国民の保養休養に重要な役割を果たす温泉地を環境大臣が指定している。

昭和29年に「酸ヶ湯温泉(青森県)」、「四万温泉(群馬県)」「奥日光湯元温泉(栃木県)」を指定して以降、全国で79か所を指定している。(令和4年10月現在)

国民保養温泉地として指定を受けるためには、別途示す条件を満たしている必要があり、特に温泉の泉質が療養泉で湯量が豊富であり、自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の観点から保養地として適しており、温泉療法医等と連携していることなどが求められている。

国民保養温泉地の選定標準

第1 温泉の泉質及び湧出量に関する条件

- (1) 利用源泉が療養泉であること。
- (2) 利用する温泉の湧出量が豊富であること。なお、湧出量の目安は温泉利用者1人あたり0.5リットル/分以上であること。

第2 温泉地の環境等に関する条件

- (1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の観点から保養地として適していること。
- (2) 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等が確立していること。
- (3) 温泉資源の保護、温泉の衛生管理、温泉の公共的利用の増進並びに高齢者及び障害者等への配慮に関する取組を適切に行うこととしていること。
- (4) 災害防止に関する取組が充実していること。

第3 温泉地計画の策定

- (1) 温泉地における温泉利用施設の整備及び環境の改善を図るため、環境大臣が国民保養温泉地ごとに「第2 温泉地の環境等に関する条件」に関する温泉地計画を策定すること。
- (2) 国民保養温泉地の指定を希望する地方公共団体は、住民、事業者等の意見を聴いて、温泉地計画の案を作成し、環境大臣に提出すること。



国民保養温泉地一覧



温泉地の活性化に向けて～「新・湯治の推進」～

1. 「新・湯治」の目的・背景

温泉とは国民共有の資源で、温泉地の核となり、将来世代へ引き継ぐものである。日本は温泉や温泉地が持つチカラを十分に活用していないのではないか。ストレス社会、超高齢化社会といった課題に対して、温泉地が温泉の力や地域資源の力を発揮し、心身ともにリフレッシュできるような場等を提供できれば、社会に活力を産み出すことが可能。また、温泉地自体も活力を蓄えることができる。このような背景を踏まえ、有識者から現代のライフスタイルにあった温泉の楽しみ方を「新・湯治」として位置づけ、その提供の場としての温泉地のあり方、環境省等に求めることを「新・湯治推進プラン」として、実行していく提案があった。

2. 新・湯治とは

- ・温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史・文化、食などを活かした多様なプログラムを楽しむ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること。
- ・年代、国籍を問わず楽しめること。
- ・長期滞在を行うことが効果的。

3. 新・湯治推進プランの実施には

「楽しく元気になるプログラム提供」「温泉地の環境づくり」「効果の把握と普及等」が重要。

詳細は <https://www.env.go.jp/nature/onsen/spa/index.html> を参照。